



多面的機能について水土里情報を活用した事例について紹介します。

(1/2)

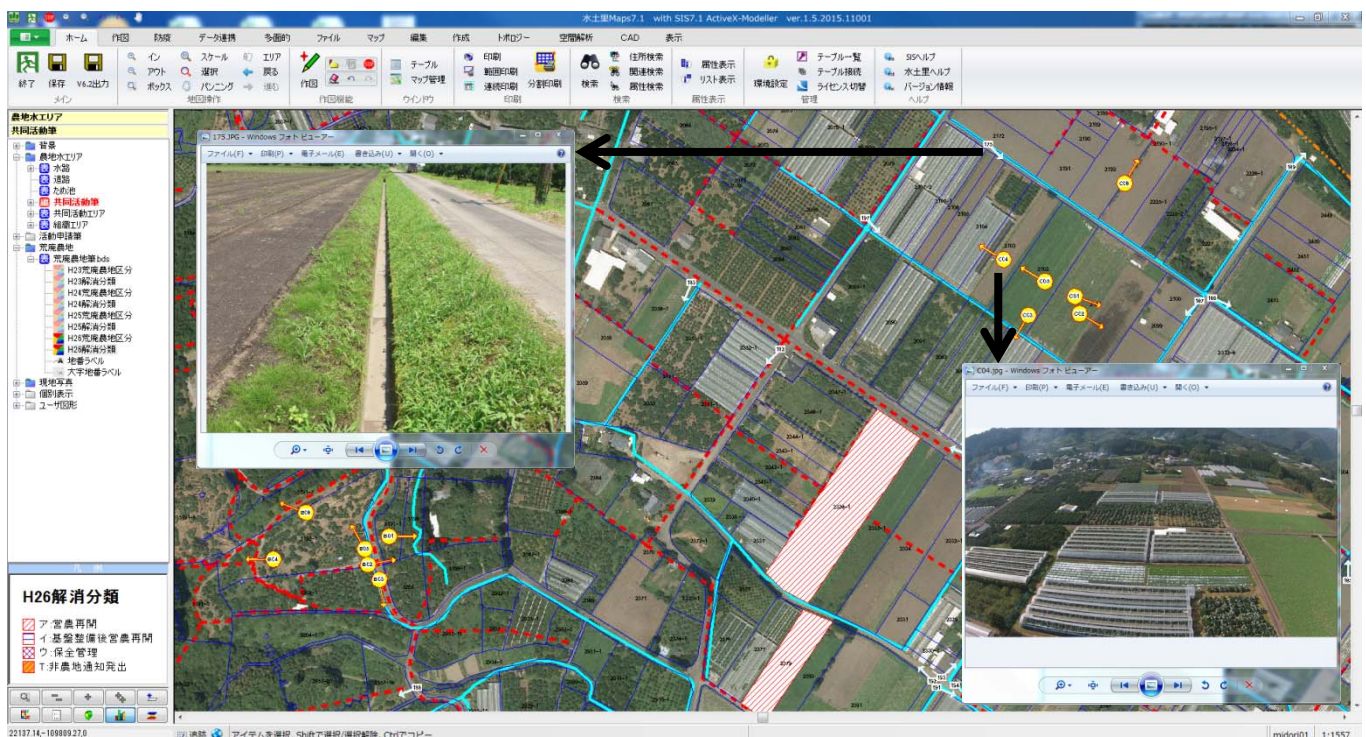
今回紹介する団体：宮崎県多面的機能推進協議会・水土里ネット宮崎

取組概要

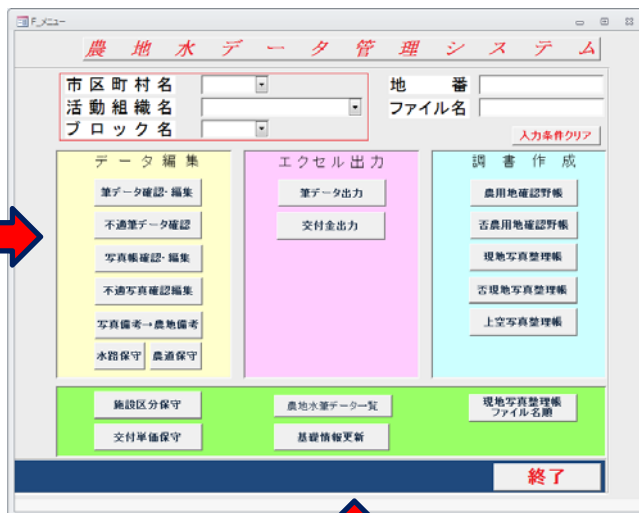
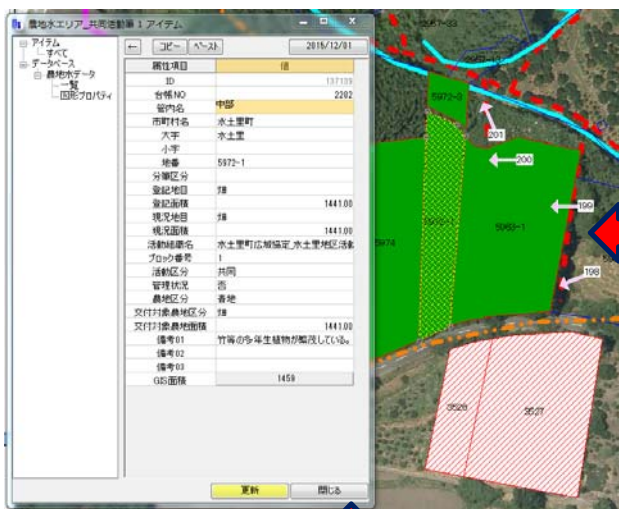
内容：水土里情報システムに多面的機能に特化した機能を付加することにより、現地確認を支援するシステムを構築

- 経緯：① 多面的機能における位置図と農地台帳はあるが、一筆管理での統一された地図データがないので水土里情報システムが活用できないか検討。
- ② 位置図に記載された導水路、水土里情報システムで作成した地図と多面的機能の台帳を結合することにより作成された対象農地で適切な管理を行う。
- ③ 荒廃農地の情報を水土里情報システムに登録。
- ④ GPS機能付きカメラ、ドローンを用いて現地確認を行った際の写真データを水土里情報システムに格納。
- ⑤ データ編集は水土里情報システム、データ管理システムのどちらからでも可能とする。
- ⑥ 帳票出力の際は水土里情報システムから台帳データ、写真データをデータ管理システムに出力し現地確認結果野帳出力を行う。

システム画面



データ内容は水土里情報システムからでもデータ管理システムからでも可能



写真を見ながらデータ編集が可能

データ修正および確認

帳票出力



期待される効果

- ① GPS機能付きのデジタルカメラで撮影された写真データをコピーするだけで容易に位置確認が可能。
- ② 水土里情報システム、台帳システムでデータ連携を行うことにより帳票出力が容易に行える。

今後の活用予定

市町村の各部署で保有する各台帳データと地図を連携させることにより、様々な情報を一元化して閲覧できる水土里情報システムを構築し、利用促進を図る予定。

■お問い合わせ先

宮崎県土地改良事業団体連合会 総務部情報管理課 0985-24-3050(直通)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、久貝) 03-6744-2201(直通)